

### 図画の部 審査講評

今年度の応募点数は、小学校 1,223 点・中学校 6 点で去年度より 201 点多い応募点数でした。

審査は、次のことを基準に進めていきました。

- 1、コンクールの趣旨：[戦争と平和について考えると共に、平和を尊ぶ心を育む機会とする]
- 2、内容として[沖縄戦について直接体験者から聞いたり、映画を見たり、本などを読んで感じたことを自由に描く]。小学校低学年においては[身近な生活の中での平和や共生、人権教育の視点による作品]。
- 3、上記 1・2 の趣旨と内容を表現するための形や色、画面構成などがそれぞれの校種や学年の発達段階に応じた作品になっているかなどです。

ちなみに、形とは人物や植物など物の形の表現で、色とは、その形を生かすための色使いのこと、画面構成とは作品全体における形や色のバランスや組み合わせのことです。

以上のことを念頭において審査した結果、総評として書きますと、

応募した児童生徒の皆さんが主旨などをよく理解し、各学年とも発達段階にふさわしい表現をした素晴らしい作品が多かったと思いますが、高学年においては、数点には内容面で素晴らしい作品がありました。もっと多くの作品にそれが感じられる作品が欲しかった。

全体的にみると、本村の子どもたちの表現力の良さと感性の豊かさを改めて感じることができました。それでは次に審査講評として村長賞と教育長賞について書きます。

#### 村長賞 ののべなな 野々部菜七（喜名小学校 6 年）「平和を考えて」

四人の女性の笑顔と平和のシンボル・ハト、それらを見るだけでも心が和みますが、絵のあちこちに丸みを帯びた形がありそれらがさらに和やかさをぞう増幅させていますね。和やかさは平和に通じる。この作品はそのことを主張しているように感じられます。色調も中間色が多く使われ柔らかい感じをかも醸し出しています。形や色、画面構成そして内容・共に優れた作品です。

#### 教育長賞 みやぎほまれ 宮城 誉（喜名小学校 3 年）「平和は楽しい」

画面中心部に人物が描かれその周囲には鳥・昆虫・は虫類などを描き、画面全体から和やかな雰囲気伝わってきます。まさに身近な生活の中での自然との共生が描かれた作品に仕上がっていますね。人物や動物たちの描き方や周囲の青や黄緑の色彩の融和など、形や色が 3 年生らしい素直な心で表現されていていいですね。

#### 教育長賞 すずきいじゅ 鈴木李朱（喜名小学校 1 年）「へいわっていいね」

顔を画面いっぱい描いたのが大胆で個性的な絵になりました。顔の色もていねいにぬり、いっしょうけんめいさが伝わってきます。目・鼻・口の形や色も 1 年生らしい素直さがありとてもいい感じですね。バックの空色もやわらかい感じがしていいですね、地面にはいろいろなお花たちがさき、そこをあか・みどり・きいろのチョウチョがとびかい、なごやかで平和なかんじがします。

#### 教育長賞 おおしろよしみ 大城佳美（読谷小学校 6 年）「にくしみをこえて」

画面いっぱい描いたところがおおらかでいいですね。左上はけんかをしているシーンかな、右側には両手を上げた女性とハートが描かれている。その二つの間には斜めに二つの色の違う手が描かれ、ハートを形作っていて、その下には虹と花々が……。現在も起こっている「人種差別の争いを止め平和な世界を築こう」というメッセージが伝わってくる内容の深い作品ですね。